

Q 人間ドック助成事業の一人当たりの助成額を増やせないか

A 助成枠を増やし対応している

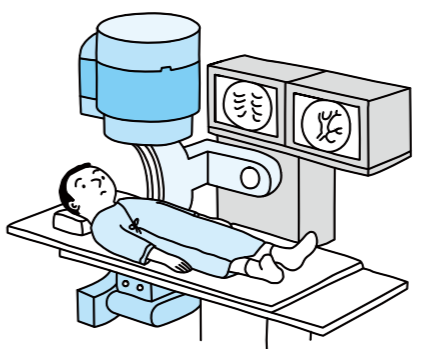
清水 しみず
睦 むつみ

問 国保の人間ドックの一人あたりの助成額は、1万7500円と熊谷市の3万円、本庄市の2万円とくらべて低く推移したままである。一人あたりの助成額を増やせないか。

答 多くの被保険者が利用でき希望する方が全員受検できるように平成23年度から助成枠を増やし対応している。

る要請」に比べ、必要な対策を早急に講じるべきではないか。

答 国からの要請は「平成25年度公共工事設計労務単価の早期適用」「ダンピング受注の防止」「法定福利費の適切な支払と社会保険等への加入徹底に関する指導」「労務費の急激な変動への対応」の4点である。いずれも必要な措置を講じている。



技能労働者への適切な賃金水準の確保について

問 4月1日以降の契約においては、国の平成25年度公共工事設計労務単価を適用しているのか。また国の「技能労働者への適切な賃金水準の確保に係

文化財の活用について
問 職人芸的な技術を文化財としてとらえ、その記録作成ができないか。
答 現在行っている無形民俗文化財の記録保存を行いながら職人芸的な技術の調査・研究をしていく。



Q 東都医療大学誘致に対しどのような波及効果があったか

A 経済的にもプラスの影響はあったと考えている

武井 たけい
伸一 しんいち

問 東都医療大学の国家試験合格者数は、また、市内の医療機関就業者数は、大学誘致に対しどのような波及効果があったか。

支援協力に関する協定の締結など、地域貢献に積極的に協力している。

深谷市医療拠点整備を問う

問 休日急患診療、子ども夜間診療拡充について、周年を通して夜間診療はするべきではないか。また、保健センター、総合健診センター、三師会事務局は、一カ所に存在することが最良だと思いが、市の考えは。

答 平日夜間への診療拡充は医師会に要望している。実施には医師会の理解と協力が不可欠であり、医師会と連携しながら拡充に向け努めていく。また、一カ所に存在することについては、公共施設の在り方も含め、市民の利益になる方向で医師会、歯科医師会、薬剤師会とも協議していく。

深谷市の先人について

問 深谷市の歴史的先人たちの記念館をつくる考えはないのか。
答 現在の経済状況では建設は難しい。市立図書館で人物の作品やパネルを展示、企画展を毎年開催している。顕彰方法については調査研究していく。



東都医療大学

Q 在宅子育て家庭に更なる支援拡大を

A 現在行っている事業の一層の充実を図る

五間くみ子 ごま くみこ

問 生後4カ月までのすべての家庭に保健師等が訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」での成果は。

答 従前の新生児訪問指導に上乘せする体制としているため、ほぼ全戸に訪問し状況の把握ができるようになった。支援が必要な家庭に早い段階から関わられるようになったことは大きな成果。



問 親子で訪れる地域子育て支援拠点の設置数や事業への参加状況は。

答 市内の子育て支援センターは、現在13カ所で、毎年延べ約5万人の方に利用いただいている。

問 在宅育児の家庭で保育サービス等未利用の家庭の実数はどのくらいか。

答 保育園、幼稚園、支援センター等を利用してない未就学児は約2千3百人で約32%である。

Q 深谷駅北、区画整理事業の進捗は

A 平成25年度(16年間)で16・1%の事業費、進捗率である

加藤 かとう
温子 あつこ

問 事業期間、街並づくり、将来都市像はどうなっているのか。

答 事業期間、平成10年度から31年度、進捗に合わせて延長していく。23年度にワークショップ(自治会、事業者、NPO団体等の会合)を4回開催。その参加者が深谷まちづくり市民会議ぶりっこらぶを組織し、都市像等を話し合っている。具体的な街並みは今後の課題。にぎわい通り、駅通り線を優先に、又電線地中化を進める。

問 中心市街地活性化、賑わいづくり事業は、将来都市像に結びつくのか。

答 ふっかちゃん横丁、レンタサイクル等、将来目標に繋がりに支援していく。

市民の声3点

問 ①公園に健康づくりの器具整備を。

答 114ある公園の内12の公園に健康遊具設置済。今後、状況を見ながら市民の声を、参考に検討していきたい。

問 ②頂上は寄居町、鐘撞堂山の頂上にトイレ設置の協議は可能か。

答 寄居町では設置要望はない。景観



鐘撞堂山頂上付近

「議会あれこれ」議員も熱が入ります!」・・・6月議会の一般質問は2日間。延べ55人の方が傍聴にいらしました。

一般質問記事の掲載は、通告順です。